

(参考) SSESの設問について(第1ラウンド調査(2016~2019)の例)

1 SSESで評価する社会情動的スキル

(別紙参照)

2 調査形式等

- (1) 質問項目は、「新しいことを学ぶのが好き」(学生の好奇心を評価する項目)、「緊張した状況でも落ち着いていられる」(ストレス耐性を評価する項目)など、簡単な質問形式になっている。
- (2) 回答は、自分がどの程度当てはまるか、5段階から選択するものを中心。(1 strongly disagree, 2 disagree, 3 neither agree nor disagree, 4 agree, 5 strongly agree)
- (3) すべての評価尺度に、潜在的な回答バイアスを調整する観点から、肯定的な表現と否定的な表現で同じ含意の項目が設定されている。
- (4) 潜在的な関係性による集団バイアスを補正するため、Anchoring vignettes法を用いてバイアスの影響を最小限にするようにしている。
- (5) 複数の判断材料となる情報、また複数の文脈にわたった情報を収集することで生徒の行動の表れと理解を向上させる。さらに両親や教師からの生徒の評価により測定誤差を軽減することで、生徒自身の解釈が有効であることを踏まえた社会情動的スキルを評価している。
- (6) 内部整合性(指標を構成する項目が相互に関連している度合い)をCronbach's Alpha ranges(クロンバッハ α 係数=0から1の範囲で、値が大きいほど内部整合性が高いことを示す。)で確認し、都市ごと、尺度ごとに、多くの項目が許容できる内部整合性を示す0.7以上に収まっており、信頼性のあるものとなっている。

3 生徒への設問内容の概要 (68の大問(各大問は1~16の小問で構成))

【Anchoring vignettes】以下の観点から、ある生徒の様子を示して、どの程度そう考えるかを質問

- 次に出てくる生徒は、感情の制御ができていると考えるか。
- 次に出てくる生徒は、勤勉だと思うか。
- 次に出てくる生徒は、親切な人だと思うか。
- 次に出てくる生徒は、社会性や社交性のある人だと思うか。
- 次に出てくる生徒は、新しいことを学ぶことを楽しんでいると思うか。

【社会情動的スキル】自分がどの程度当てはまるかを質問

(別紙参照)

【背景指標】

- 性別、身長、体重
- 親の学歴、親の職業、家の所有物(家財道具、家電PC、蔵書数)
- 生活満足度:「全体的に最近の生活にはどの程度満足していますか?」など

- 教育への期待:「どの程度の教育を修了したいと考えていますか?」など
- キャリアへの期待:「自分が30歳くらいになったら、どんな仕事に就くことを期待しますか?」など
- 生徒と教師の関係(過去1年間):「ほとんどの先生が私に公平に接してくれた」、「ほとんどの先生と仲良くなれた」、「ほとんどの先生が私の幸福に関心を持ってくれた」など
- 放課後活動への参加:「学校外で次のような課外活動に参加しているか」(スポーツ、芸術、社会活動、地域奉仕、環境保護活動)
- いじめ関連(過去1年間):「他の生徒からからかわれた」、「他の生徒から脅された」、「他の生徒が私のものを持ち去ったり壊したりした」、「他の生徒から殴られたり突き飛ばされたりした」など
- 基礎的知識の程度:「次の数列で、次にくる数字は何か。64、81、100、121、144、…」、「明後日が木曜日の2日前だとしたら、今日は何曜日か」など

4 教員への設問内容の概要 (34の大問(各大問は1～8の小問で構成))

- 性別、年齢、勤務形態、職業経験年数、研修受講状況、担当教科
- 教職を学んだ際の内容(教育機関、就職後研修)
 - 「学級経営」、「対応の難しい生徒の扱い方」、「グループワークでの指導法」、「生徒と教師双方向のコミュニケーション」、「子どもの発達」など
- 指導の実態
 - 「興味を示さない生徒の関心を引き出せる」、「生徒が批判的に考えるようにさせる」、「クラスのルールを守らせる」など
- 評価の実態
 - 「生徒に自分の進度を振り返らせている」、「課題や宿題から評価資料を集めている」、「他の生徒と比較して成績を付けている」、「成績が上がらなくても生徒の努力を認めている」など
- 社会情動的スキルの育成の推進
 - 「業務の中で又は授業中に生徒の社会情動的スキルの育成を促進するように求められている」、「学校の教育計画に含まれる目標の一つである」、「社会情動的スキルの生徒の達成度が評価されている」など

5 校長への設問内容の概要(32の大問(各大問は1～11の小問で構成))

- 性別、年齢、職業経験年数
- 学校の運営費の財源、地域の人口規模、学級規模、男女別生徒人数、生徒の背景(「経済的に恵まれていない生徒が多い」など)、教職員の職種別・経験年数別人数
- 指導力に関する問題(人数不足、質)、教員の研修への参加度合い
- 教員向けに社会情動的スキル開発に向けた研修等をしてきたか。
- どのような方法で社会情動的スキルの育成を進めてきたか。生徒の社会情動的スキルの達成度は評価しているか。
- 学校の目的として次の項目にどの程度賛成するか(学業成績、就職率、善良な市民としての機能、幸福感、社会情動的スキル)
- 校長としての仕事の満足度